

「第 13 回 地域医療を考える市民の集い」 開催報告

【テーマ】 医師の働き方改革と上手な医療のかかり方

【日 時】 令和 6 年 2 月 24 日（土）午前 10 時～11 時 30 分

【場 所】 津島市民病院 2 階 講義室

【主 催】 海部地域医療サポーターの会

【内 容】 第 1 部 紙芝居「くませんせいの SOS」を観て座談会
・ 医師の働き方改革を知る

第 2 部 津島市民病院 神谷院長を囲んで座談会
・ 医師の勤務状況を知る
・ 働き方改革の内容とその後

付 録 「地域医療を守るための住民宣言」発表

【総 括】 第 1 部では、海部地域医療サポーターの会により、紙芝居「くませんせいの SOS」が上演されました。不要不急な受診が増えることで、医療従事者が疲弊し、患者さんに十分な医療を提供できなくなってしまう恐れがあることをわかりやすく教えていただきました。

第 2 部では、神谷院長から「医師の勤務状況」や「働き方改革」について講演をしていただきました。これまでの医療は、少なからず医師の過酷な労働で成り立っていた面がありましたが、これからは他職種によるタスクシフトやチーム医療を行うことで、医師の負担を軽減していくことが重要であり、医療を受ける側もそのことを十分に理解する必要があると思いました。